

MULTIPLEX

Gemini ジェミニ キット 組み立て補助説明書

当説明書は、キットに同梱されている各国語版の説明書のイラストを参照しながらお読みください。
各国語版の「GB」のページ(P15～25)が英語表記です。

この度はマルチプレックス社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ラジコン飛行機は取扱いを誤ると自分、及び他人に危害を及ぼす可能性が常にある事を忘れず
に最大限の注意を払い、飛行をお楽しみください。また必ずラジコン保険に加入して万一の
事故に備えてください。

警告 注意 安全のための確認

- 1) 本機体は中、上級者向けの機体で、入門者の単独飛行は困難です。
経験のあるフライヤーに指導を仰いでください。
- 2) 各フライト前には必ず各部を慎重に点検してください。
モーターとプロペラの取り付け、翼の取り付け状態、重心位置の確認、各舵の動作状況、
無線機のチェック等、安全に配慮した機体の点検を怠らないでください。
特に飛行場に到着した時や激しい着陸の後は翼がズレたり搭載物が移動している可能性が
あります。
- 3) 動力用のバッテリーのコネクターを接続する前に必ず送信機のスイッチを ON にしてモーター
コントロールスティック等が必ず OFF 状態にある事を確認してから機体側の動力用バッテリーを
接続してください。
守らないと最悪の場合、勝手にモーターが回転して危険な状態になります。
モーターのスピードコントローラーの取扱いも熟知してください。
- 4) 機体を持つ時は受信機スイッチの ON - OFFに関わらず、プロペラに触れないように保持して
ください。万一のプロペラの回転に注意してください。
- 5) 機体を離陸させる時は人に向けてはいけません。手投げの場合も人を背後にした向きで
手投げしてください。
飛行中は人や建物、動物に向けて飛行させてはいけません。
- 6) 飛行後のモーターは高温になっています。必ずモーターが冷えてから次の飛行を行なって
ください。熱いうちに飛行させますとモーターの寿命が短くなりパワーが低下します。
- 7) 機体は高温になる場所に保管しないでください。変形して各部の角度が狂い正常な飛行が
できなくなり危険です。特に夏期の車中にはご注意ください。

キット内容のチェック

各国語版の説明書 P25 のパーツリストに沿って欠品がないか調べます。
もし欠品や破損品がある場合は ハイテックマルチプレックスジャパン迄ご連絡ください。

推奨搭載メカ等

- ・送信機:6ch以上のフラップロン機能等を有する送信機
- ・受信機:Hitec Fusion9 Supreme S Mini6S 等
- ・サーボ:Hitec HS-55 × 4
- ・パワーユニットセット モーターHimax C2816-0890
アンプ MULTconBL-27
プロペラ 10x5.5
プロペラアダプター
- ・動力用バッテリー:3セル 2100~2500mAh リポ電池

機体データ

- ・全長 920mm
- ・全幅 920mm
- ・翼面積(FAI) 34 dm²
- ・重量 840g
- ・翼面荷重(FAI) 25 g/dm²

接着剤

当製品の素材はELAPOR Formです。

中粘度又は**高粘度**の瞬間接着剤と硬化促進剤を使用してください。

図の中のCAと書いてあるのは瞬間接着剤の略号です。

硬化して固くなるエポキシ接着剤はあまり適しません。墜落の激しいショックで剥離する場合があります。これを防ぐ為には接合面の表面を削り落とす意味でサンディングをして表面を荒らすと接着剤が染み込み、効果的です。

硬化しても多少弾力のある接着剤の方が有効です。

ELAPOR Formと成型プラ部品の接着は中粘度の瞬間接着剤(プラ側)と硬化促進剤(ELAPOR Form側)が有効です。

ELAPOR Form側は硬化促進剤を塗布する前にエンジンシンナーで表面を荒らして乾燥した後に塗布します。

注意:瞬間接着剤は目に入ると危険ですので作業中はゴーグルで目を保護してください。

以下は各国語版の説明書イラストに沿って説明します。(P15~25の間)

図1、2 (Abb,1.2)

キットの構成イラストです。部品を確認してください。

まず、リンケージ用のアウターパイプとインナーパイプを必要な長さにカットして下さい。

52 3mmアウターパイプ 300mm 2本

53 2mmインナーパイプ 320mm 2本

を作ります。

図3 (Abb,3)

図のように左右の胴体にサーボを接着します。
5分エポキシあるいはホットボンドの使用を推奨します。

図4 (Abb4)

52 の 3mmアウターパイプ 300mmの中に 53 の 2mmインナーパイプ 320mmを通し、さらに 51 のピアノ線を通します。 2本作ります。
胴体横の溝に入れて接着しますが、このときインナーパイプとアウターパイプが一体化しないように注意してください。接着剤が流れ込まないように慎重に作業してください。

図5 (Abb5)

モーターマウントとキャノピーキャッチそしてノーズハッチキャッチを
図の位置に接着します。
左右の胴体両方同じように作ってください。

図6 (Abb6)

ウイングボルト受けを 2 セット作ります。

図7 (Abb,7)

右側胴体にウイングボルト受けを接着します。
穴が中央に来るように注意してください。

図8 (Abb,8)

左右の胴体を接着します。
まず、仮組みをして下さい。隙間なく接着できるかどうか調整してから張り合わせます。

図9 (Abb,9)

ノーズハッチ固定ラグを接着します。
実際に胴体に付けて位置決めをして下さい

図10、11 (Abb,10、11)

フルキャノピーまたはオープンエアタイプにするか選択し接着します、
キャノピー固定ラグを接着します。

図12Abb,(12)

プッシュロッドコネクターをエレベーターホーンに組み付けます。
ガタ無く軽く回転するように仕上げます。
固定ナットはネジロックかエポキシ接着剤で固定すると良いでしょう。
図の位置に接着します。

図13 (Abb,13)

胴体と水平尾翼を接着します。まず、仮組をして隙間等がないか確認します。
歪み等を気をつけて慎重に作業してください。

図14 (Abb,14)

まず、ラダーが軽く動くように10回～20回位左右に曲げ癖を付けます。
テールギアユニットを図のように組み立てます。

図15 (Abb,15)

プッシュロッドコネクターをラダーホーンに組み付けます。
ガタ無く軽く回転するように仕上げます。
固定ナットはネジロックかエポキシ接着剤で固定すると良いでしょう。
図の位置に接着します。

図16 (abb,16)

垂直尾翼を胴体に接着します。水平尾翼とのバランスを見て作業してください。

図17 (Abb,17)

テールホイールを取り付けます。
ハトメを接着しますが、軸に接着剤が入り込まないように注意して作業してください。

図18 (Abb,18)

ウイング中央パイロンを製作します。
6のパーツの余分な部分を切り離しウイングボルト受けを接着しその上に7を接着します。

図19 (Abb,19)

上主翼に補強用グラスロッドを溝に入れて接着してから中央パイロンを接着します。

図20、21 (Abb,20、21)

左右を間違えないように翼端パイロンを接着します。ベルクランク受けを接着します。

図22 (Abb,22)

上下のエルロンをリンケージするリンクホーン(左右)を接着します。
上翼用のリンクホーンは1.6mmの穴の開いているものです。

図23 (Abb,23)

下翼にエルロンホーンとリンクホーンを取り付けます。
プッシュロッドコネクターをエルロンホーンとリンクホーンに組み付けます。
ガタ無く軽く回転するように仕上げます。
固定ナットはネジロックかエポキシ接着剤で固定すると良いでしょう。
図の位置に接着します。

図24 (Abb,24)

図のように左右のエルロンサーボを接着します。
5分エポキシあるいはホットボンドの使用を推奨します。
接着する前にサーボのニュートラルを出しておいてください。

図25 (Abb,25)

脚取り付け台座とウイングボルト受けを接着します。

図26 (Abb,26)

上翼と下翼を接着します。翼端パイロン部のみの接着です。

図27 (Abb,27)

エルロンを可動できるように、良く切れるナイフ等で図の部分を切り離します。

図28 (Abb,28)

スパッツにタイヤストッパーを取り付けます。
図のように外側は台座と共に接着します。
下からイモネジが回せる位置で固定してください。
外側のイモネジは5mmで内側は3mmのものを使用します。

スパッツを完成させます。
接着は瞬間接着剤を使用します。

ランディングギアにスパッツを固定します。
スパッツにタイヤを入れて6角レンチで2箇所固定します。

メインギアを取り付けます。
図のように奥までスライドさせて中央部のストッパーを
起こします。
抜け止めに瞬間接着剤を少しつけると良いでしょう。

脚取り付け台座にランディングギアを組み込みます。
3x12のビスで固定します。

図29 (Abb,29)

真直ぐ滑走するようにトーインをつけます。
前側が5mm狭いくらいに調整します。

図30、31 (Abb30、31)

胴体と主翼を取り付けです。
5mmのプラネジ2本で固定します。

図32 (Abb,32)

モーターユニット取り付けの様子です。
サイドスラスト、ダウンスラストが調整できるようになっています。
調整なしの状態はダウンスラスト0でサイドスラストは最大値に
なっています。
調整ネジは一回転で約0.5mm進みます。
純正のパワーユニットを推奨しますが、他のモーターを使われる場合
シャフトが10mm以上あるとスピナーとのクリアランスが開きすぎるので
スペーサーが必要となります。

図33 (Abb,33)

重心位置です。
上翼の前から75mmの位置になるようにバッテリーや受信機の位置を調整してください。

図34 (Abb,34)

キットの箱等を参考にしてシールを貼って完成です。

受信機、スピードコントローラー、バッテリーの搭載

おおまかに重心を合わせ、位置を決めます。
特にバッテリーは飛行中に移動しないようにマジックテープで固定してください。

注意:受信機のアンテナ線にモーター配線やバッテリー配線を密着させないでください。
ノイズが受信機に混入しやすくなります。

重心位置

重心位置は上の主翼付け根で前縁から75mmです。
重心位置は飛行機にとって、とても重要な要素です。正確に合わせてください。

舵角の設定

エレベーター	上12mm	下10mm
ラダー	左右20mm	
エルロン	上16mm	下12mm

シール

本機体の素材はシールののりが付きにくい素材です。
先にエンジンシンナーを布に含ませて拭いて表面を軽く荒らします。
この作業は最大30秒以内に行ってください。

初飛行

注意:この機体は中上級者向けです。
初飛行は無理をせず機体に慣れてください。
風の弱い日に行ない、着陸は、まだバッテリーの残量があるうちに何度かアプローチしておいて余裕をもって着陸します。

株式会社 ハイテックマルチプレックスジャパン http://www.hitecrd.co.jp 〒140-0012 東京都品川区勝島1-4-19-507 03-5767-6300、050-5519-4989 support@hitecrd.co.jp
--

当製品は改良の為に予告なく内容を変更することがあります、予めご了承ください。